



## ・代謝・糖尿病センター

糖尿病を中心とする代謝疾患(脂質異常症・高尿酸血症などを含む)は高血圧症とも深く関連し、わが国における死因の約3分の1を占める動脈硬化性疾患(虚血性心疾患、脳血管障害)の原因となっています。とくに糖尿病はわが国において患者数の急増が認められ、血液透析導入や失明などの急速な増加を伴い社会問題化しています。各代謝疾患は現在では生活習慣病として認識されていますが、その診療においては毎日の生活習慣への介入等多方面からのアプローチが必要となります。



旭川医療センターの代謝・糖尿病センターは、糖尿病を中心とする各代謝疾患の診断および治療とそれに伴う動脈硬化症や糖尿病の三大合併症(網膜症・腎症・神経障害)などの診断・予防・治療を最新の検査機器および治療法を導入して総合的に行うことを目的に設置されました。

いわゆる生活習慣病の診療にあたっては医師の診察だけでなく多職種の職員による情報提供が必要となります。当院では看護師による日常生活の注意点の指導、栄養士による食生活に関する指導、薬剤師による服薬やインスリン自己注射の指導などを常時行い、総合的に生活習慣病の診療を行っています。

## ・糖尿病教育入院

初めて糖尿病と診断された方や、以前から糖尿病を指摘されていても放置していたり、どんな病気か理解しないまま治療を受けている方に対して糖尿病に対して深く理解していただくための入院であり、各職種がチームを組んで指導に当たるとともに病状の把握のための検査を行い治療方針を決定します。

## ・療養指導

糖尿病をはじめとする代謝疾患は、生涯にわたる生活習慣の管理・維持が重要です。当センターでは代謝疾患に関するパンフレットの配布や月1回の糖尿病教室をはじめ医師・看護師・栄養士・薬剤師による各疾患の情報提供および日常生活の注意点、栄養指導や服薬・インスリン自己注射・血糖自己測定などの療養指導を常時くり返し行っています。

## ・検査体制

糖尿病や脂質異常症は動脈硬化症の原因となるため、日常の血糖・脂質の管理に加え専門臨床検査技師による頸動脈エコーや動脈脈波伝播速度検査などによる動脈硬化の評価を行い、脳梗塞や狭心症などが疑われる場合は脳神経内科および循環器科専門医と連携し診断・治療にあたっています。糖尿病の合併症については、糖尿病性腎症の診断に必要な尿中アルブミン測定や神経伝導速度測定による糖尿病性神経障害の診断などを行い、その早期発見につとめています。

## ・臨床研究

現在のところ糖尿病を代表とする代謝疾患の原因は不明なところが多く、またそれに引き続いて発症する各合併症についても原因は確定していません。当科では糖尿病を中心とする大規模臨床試験に参加するとともに、独自の観点から治験を含めた新しいアプローチを展開しています。

